



# 「ことだま」百選を通じた言葉の教育を推進 杉並区立天沼中学校



このシリーズの第2回は、天沼中学校の水野英利校長先生からお話を伺いました。

## ★概要

天沼中学校（以下「天中」）は、1947年の創立、3年前には70周年を迎えました。在籍する生徒数は現在292名、9学級からなっています。校舎は、四面道から日大二高に向かうバス通りから少し北に入った本天沼の住宅地に立ち、広々とした運動場と体育館をもっています。教育目標には「自主、自律、共生」を掲げ、目指す学校像は「共に見て共に考え共に育む、地域と協働する天沼中」です。それを地域で支えているのが、PTA経験者や地域ボランティアからなる学校支援本部（2007年に発足）と地域運営学校として教育方針決定などに参画する学校運営協議会（2009年に設置）となります。

## ★「ことだま」学習

天中といえば、有名な「ことだま」学習があります。全校で「ことだま百選」の暗唱を実施しています。これは「言葉こそ人間関係の基盤」、「よい言葉はよい人間関係を育む」という教育観に基づき、和歌、俳句、漢詩、現代詩、小説などから100の詩歌や文章を選び出し、声に出して暗唱できるまで学習し、最後は検定を受け、地域の大人たちにも発表するプロセスで「ことだま百選」です。英語の世界から採った英語版[Kotodama 100]を使った学習も始まっています。相当の努力が必要でも表彰があり、校内で人気があるとのこと。在校中はたとえ苦闘したとしても、卒業生は後になってからの有難みを感じているようです。日本語の方の「百選」は講談社から出版されており、我々もひもとくことができます。



本になった

## ★特色ある6つの教育活動

- ①フレンドシップ（1年生になつてすぐ参加する「友達づくり」の宿泊行事があります。）
- ②ボランティア（地域のイベントなど各種活動に参画し共助の精神を醸成、中でも杉並区の中学レスキュー隊の中核を形成、全校で80人規模は杉並区でトップ。）
- ③天沼検定（「ことだま百選」の学習と暗唱を通じた「天沼検定」の実施。）



天中レスキュー隊



街頭募金活動

- ④天沼郷中（あまぬまごじゅう）（薩摩藩での青少年教育に做った呼称。上級生と下級生が一緒になって運動会での応援団形成、協同競技、道徳科目での相互議論、英語授業での教え合いなどを通じ、リーダーとなったときの自覚と機能発揮、フォロアーの役割などを学習。）
- ⑤食育Do!（成長期の生徒にとって食事の大事さを学び、食材の産地や調理に関する認識を高めること、残さず食べる省資源の発想や食事のマナーも身に着ける。）
- ⑥読書活動：AKAの110冊（天小、沓掛小と連携した小中一貫教育として9年間で読む計画的読書の実践。）  
この他、地元の事業所で受け入れてもらい、実務を経験する「職場体験」なども授業に組み入れています。

## ★外部講師も加わる特別授業

外部講師を招いての特別授業も年間で行われています。最近力を入れている「いのちの教育」では、「誕生学」、「がん教育」、「臓器移植」をテーマに、医師・専門アドバイザーから生と死を見つめる授業が行われています。



質問に答える初木選手

また、本年開催の東京オリンピック・パラリンピックとの関係で、2月6日には天中の卒業生でサッカー女子日本代表の初木結花選手が来校して、オリンピック代表への想いを語る講演会と1年生とのフットサル交流会が開かれました。

## ★水野校長の想い

最後にAI時代に向かって水野先生の言葉が聴けました。「学校教育に不変なことは『心づくり』です。知識や技術がいかに進んでもそれを載せる心がなくては共感も信頼も価値も生み出すことはできないでしょう」、「心をつくって人をつくる」これが重点であるとおっしゃっていました。

## 杉並区立天沼中学校

住所:167-0031 東京都杉並区本天沼3-10-20 電話:03-3390-0161  
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/